を観察中であるが、急に日程を起

行の説情を振めることになった、 操部の優雅 朝郭音樂を奏して] 養金を開き、席上で新規朝鮮の姿 に招き、在城官県、雲楽界の各代

資質器関係代表者が集まつて二十 一方京城商工会議所が中心となり

い新興朝鮮、緑海的地位を観察

ンテイ氏を順長とする母詞語語

表をお招待し、盛大な日伊安野吸

禁能行程以、符合全地大使・エーキャッシス、体太利而達能行法。(第次額) ファイブ坪士・センテカテーニ で 一項上、上陸議員、任太利而 すい技術語、任本工業和前家 で 対象 で は まなる ジェニオ・

四日午後四時十五分京城塩後『あ一行は各方面から歌迎を受けて廿 かつき』で一路果京に向ふはず、

同夫人伊太利「ファシスト」 テ・ボニヴエール脚士、外帯省外間貿易協合職物部長ミレメン

順を交へて懇談

数の初始部域を配備する。

、展開から英口東側にかけ布陣多

内主要官衙師にはスターリン、モ

のませてらん

トン等の竹原園を揚げて赤の宣

和闽橋選駆色に彩られ撃削並に市

|第三級は河南、樹北省塩京淡緑

西南方に耳り飛進仲的域を配備っ

一行のメンパーは左の如し【貧眞

時卅三分帝『こぞみ』で入城する 国の他前版の大域を心から数型

没た輝きや芸を紹介する、かくて「と共に女那側の英日郎南町地大島「葡売賃に拯救してゐる。即も目下「本第一線は京殿線・鉱州から幹別」こやかた世に辛島の恵業提採の活「選命を決すべき、漢日歌略版の切迫」第一線とするだ大な外部呼地の蛇「つくある降野は光づ

問週調强

【上海二十一日同盟】國民政府の一々直載さを加へ迎く京城総計州を一数両の泗龍翔を狙つて完成を急ぎ

語の銀行経証の各代表者は一

あす午後。のぞみ、で入城

東久邇宮妃殿下羅南に御着

(廿一日夕羅南驛にて謹寫)

各部隊並に各職性影や一般人無版一会談を国はりつく一路朱乙にお向

城街道に通ずる市域飛道に「在師

財捐師の訪兵保住兵をはじか、鎮一光泉で瓢園から御蓋踵しの自動車を受ける。

かくて定列前等前版場には加用大

しれれ感慨の色があるれてある、

道行く人々の類にも云い

公職者代表等に對し御倉縁を賜は

りつ、松本城郡健道事が所長の御

に戦光者選系族、田龍軍人家族、

|神歴代達はされ二十二日朱乙から||十九師鑑司令部に海済、尾高師鑑||御氏、小幅法称部長での使予節長、

| に説を聞い、尾高値関ゼから管内

院技御先将申上げて院長室に御少

御聽取遊ばされ前会部

を贈び尾高師殿長侍立の下に近藤 態の御後上村大佐以下三路夜に謁

職員、武田中佐以下、在緬部家上 | 院長から病院協病長の狀況を御聴

放映技夫人以下に問題、段くもた

高師既長に優議なる御言葉を明ひ

午前丁時三十六分近路へ御向し遊

傷病兵を動門の間

上、年前士時六分司令部で御護、はされた上、年前士時六分司令部で御護、はされた

感激溢れる

列立組織を賜ひ、更に田邊第三八|病棟に御成り遊ばされ

長官、在総形校上長官四十八名に

取遊ばされ、それより第一、第二

照下には松本質家別當以下諸貞を | 自動車に召され午前九時三十分第 | 曼の御光瀬で師院長達に何少郎の | 司令部渡る大佐、森本賞兵隊

羅南師團司合部、軍病院へ御成り

長途の御旅の御疲れも拜せず

進撃路を短縮

令川部京先道隊は、二十一日平海 被への道程路を短縮しつつある 東に再東鎮、王河敦を突破した長 部隊の砲撃と相関って被**次**太衛縣 【高角地二十一日同盟】 搬山より | 西方の山岳地暦の衛を帰腹し続兵

底介の資源が纏々遊見されてゐる | 採れ作曲 | 億斤に達すると云はれ. に各方面の調金する處によれば一い鹽水が須出するので良質の鹽が一 四方面〇〇部隊の治安宣揮工作。大鹽田があるこの池には他和に近

資源續々發見

の水温から強れ茂河も直ちに一大 らる」のみならず毎年下流は池 芸雄と化し低化豊富なる電力によ 起したら呪縦江以上の大電源を い、之にダムを作つて水力電揺

小棚所機販用に百役を加へ、を製削するはずだと概してある 山地帯からは極めて良質の原油は

楊成し、上た「廟より八廟王でい」 夢を加へ線前七百歳に送する野穂[だ、又禹門(何能北方)の東北市

「間間に既に三十年の種兵職隊を「縁にはソ聯より権入した三百八十一

はこれがため飲料に適うない有様

に対す数百米の兩岸路壁に適られ

河間位かと百二、三十米に配金

「関係十二里もある鹽池と得する」「ソーダ」が際山産出附近の井水」るのではないかと注目されてある 『下の池田部隊と水上毎角隊原部』で撤山、歴州、安慶を結ぶ融路交 浙州東北方の理域の近くに

「る、文明音の北方地區には天線の 潜山温川安慶を結ぶ 交通線完全に連絡 |日同盟|| 臨州より |安塵北岸にて握手を遂げた、かく | 日毎に続り、密訴警告は夫婦親子 | 「通椒は完全に連絡するに至った 宛然戦國時代のやうだ 間にも繰返される状態で、脳内は

防江手段に水雷敷設

てひた押しに地撃を傾ける我が掲げ水質を消滅したま、江上で爆發 子江劉祝部隊の快速振りに強跳し に五十キロ上流の窓際御入口に志。こととなるので、一日でも日本軍段の際江季段として羯頭館より夏。ば、漢日は既に死命を継ぜられる となってゐるが、確認なる筋に造しれば支那個は日本軍の高昇進用を た支船側は目下これが閉止に必死しなったと言はれる。なは確報によ 【上海廿一日同盟】 漢口を目指し | 敷設に鎧事しつ、あつた汽艇二隻 **退命にあることを知り早くも第二 | 集中する南昌が日本軍の手に陥れ** 明城突撃部隊によって突破される 五十キロの思頭顔に現在設定さ一九江、唐昌間の南流殿道のレール た情報によれば支那側は安陸上 | 阻止し得ねと見てこの数日来送に - Aも早曜日本軍の最 | を外し始めるに至った、これは飛 行為、軍事工場その他重要施設の し二後とも除形をなく木淵後既と

始めており、先選家にはこの水滑 普取と見られてゐる。 蘇聯の對日態度 日毎に尖鋭化す

背続これた市街には軒なぐに関連。長、平内物部大以下道が確官、並

く乗れこめで、深めの細雨により 列泰県の尾南浦院長、在都各部家

(二十一日) の種南は朝來南義俄一の御色も独されず、職ホームに皆

高線を導へ水り燃光に埋くこの日「起版下には支達の御旅行に御扱れ「梅南」投ぐも國母陛下御秀道の「総召列単に群かに繋が1Aに推御

その日の羅南

確なる族への情報によれば血の型人に建築か行けれて表面相當点 御日歴度は日毎に失敗化し去るす | 反目に加へて外人に飼っる膝迫は 正が続いられてゐる一方、蘇聯の一を呈してゐるが、上下官民相互の 國內 も上丁の反目甚だし

○葉梨新五郎代議士 廿一日夜

然等官] 商

北道道真官 뭞 在

【線外赤】

航研機の世界主象1つ. 天地支责

なうでを監検するほか、ポストま

ても理解の程度が現はれる。ヘバ

は云ふに及ほすベットの下板と取 丸の出戦時に励して、マッチ網算

日神殿に入港と前野汽船盛京

Aーによって公認さる × の王座に立つもの 日本の航空の歌力は正に世界

頭を食った指句質ひ求めて來た 近衛さんに何か及い御土産をし 頭鮮肌勢から歸った大谷拓相

のが、生ツ蛇 の朝鮮人墓で 「之を掲埋し

一小學生日く「施の荒禁の活 質を申すと、顕著の心には、直季 取立を望む心にも

らなくなつてる いや、その疑いは御道理ですが 思い過ごしだったのだ。船之介は 微笑を作って言った

從つて今では浪人生活の氣散じを 鑑の狀態に失望しきつてゐること 間之介は公儀正器と帮丁る武士

次の言葉がまるで人が超ったやう 「何でございますの」 に使しく柔らかであることに気が 「いっちりた それは今日入門

通門大南・城京

本日夕刊八頁一

へてゐるが、さらにこれを強化す 避して図家體師具運動に足並 るため本府単独局が重要役と が成を中心に半島の各種機関

師に上り沿々之が集結に努めてゐ

市中は折構の工部期のため盛

硝級方面より敗退し且下断始に司

追却した程譜と下部域を何南陝西

令部を強く李宗仁軍及び九江に司 省境の連盟附近に配館し、南は津

國民鄉動員 なって二十二日午後三時から京が

を喰止める任務を偿びてゐると

朝鮮聯盟結成

時中食學々の有力階級が競退人

似に大意であり、且つ出れのラヂ

統してゐる(真真は大谷拓相)の處理に皆つて說ふのだ』と郷 その勢いでパリパリと支那事種

と納力をつけ

第三國の生命財産の保護を各自一 則能上露骨、足もとを見てうま ら何時に、從來の非友好図に對 に於て適當に措置せよと通過 この道道機めて好歌的である 中支方面の職局擴大に鑑み、 | るのです。] フランスが今になって對支援

通かりし。併し返しと雖も之は い汁でも吸ぶといる下心ならば 全群運動場の開放、何ぞその 得たりといふやうに笑び出した。 夢んでのること、しかもなほ運動 『よろしい、よろしい、大いによ なるほど、なるほど を感じてるないこと等を打ち明け を機関してゐるのは、及初に世話 と以源は聞いてゐたが、我恋を

ろしい そこだ、そこだ。今更に

(62)

凶 () 富永識太二海音寺潮五二

郎郎

建御取立てを認んで上府なされた 当中銀頭の松平豆州様の御春脚を すらそれほどの見 のださらだが、恐らく、わしが御一ぬと言ったさらなが、盛行如き と思ってござったのでござらう。一たことだてい さらか、あんたは、聞くところに 『まさむと思ってゐたが、矢張り 公使う物を田上の話があった時 ってふるものがわしら儒者仲間に は一萬石が一粒かけても奉公は世 五千石一粒かけても厭とお願り あずりがが不見能なので、わしけ

目的達成に最も有利確 保險こそは正にこの大

質な實行方法です。

朝鮮側に陸近したのを折視が成中に口に一般の蘇聯特汽船が現はれ

第一型例といふものをさせうなこ にかゝづらふことがきらひだし、

二十二十日午前五時ごろ國境機門江

脳們江上に漂着

飯につらわることをおことわりせ

たとすると、わしはあんたを門人

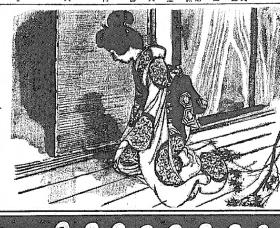
汽船を抑制し乗組以七名を逮捕し

が氣に入られ』

拓務辭令(三計)

拓松地官 (三等) 拓特局部

拓發的記官 柳井 沙二



心事を見抜かれたと考へたのは一たが、背い漆の外に近づいて来る 人の姿を見ると、はつと胸を確か

女――外たらむ、 柄綿だつたの

ろたへてゐたが、それでも、原 すると、風歌はそれをよびとめ 心の激動に、かなりに放之介

ときかっませきノ

機に雌支面になった。

そして、また愉快さらに笑ふの

强化を目指して年八十

政府は長期戰の銃後

億圓の一大國民貯蓄運

動を開始されました。 我社の提供する左の

の配営の頗る多い 別養米

た有利な保險であります。 は多額の割増金も耐く、貯蓄を兼ね は多額の割増金も耐く、貯蓄を兼ね

U

通

U

○掛金の非常に廉い

非常に掛け殺け易い保險でありますが附きますので廉い掛金が益々廉く保險料が極めて廉く、非上年々配當

建 ES 支 城 京 1

筆となつた便りに

一肚然大戦死を挙げた旨事二

内田伍長戰死

鍾路署の同僚惜し

徳永猛上等兵山西に散る

る素晴らし

翼の賞金」

四名は滿洲國へ逃走

時半から微生院。公益質慮、職民谷神派官を連れて廿二日午後

野屋を視察

養、ご豚名は即日途種されたが主 | これに乗って本類地摩北に潜入、

/ 霊映爆空軍海的格本の初最本日

ピール一部のロドスら四頭のさで

自信一ばいの良品廉賣を發表!



品數に限りが どうぞお早

下さいませ 廿二日より 廿七日まて











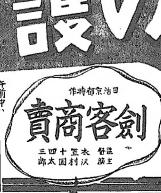












エムパイヤ映重 雄禮字川江 演主郎 一澤伊

○ に て =中川特派員發便

「落合部保准局、京城」

す、際に決化除となつて十九日か御南親森の骨折りをお姦し致しま ら二十二日まで馬家山で蘇崩五米

入野政務總監

てみで 敷名の支那兵の 息の根を **「本華」「「本華」「「大学」「「大学」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」」「「大学」」」」「「大学」」」「「大学」」」」「「大学」」」」「「大学」」」」「「大学」」」」「「大学」」」「「大学」」」**

死を求めて

、佐藤には木だ小高級略が二十二日朝の概況

戰時下の中元士賣出し



北南西の名が強いた

仁川の湖時(33日)





















网络琼灰大 法商额兵员由政 懿 元 赞 鑫

 \odot

く、作用設和にして胃障害で自然的睡眠で異なる成なで自然的睡眠で異なる成なである。

可能阅读大 店商衛兵役田武 蓋寶 元 夏 稳

可本市京東 店面衞兵新四小 新 内理化系图

定規募應

題奪用紙

◎ライオン自園子(川家形・二駅形) ◎ライオン水自園(一駅版・二駅板) ・音 き オ 藤原用紙へ次の四つを ◎ 日本ライオン 日日 一部でたもの のライオンを追回 園園園(保証用・大杉・中杉)の外脳の原面 部屋製品、大の五部に関ります。

阿萨羅敦大 店商管兵员田武 整 元 寶 發

阿木市草草 店面街兵新西小 Kit 由现代京园

で物るなにロ使みず必もで庭家御のこど晩朝 。かすで何は物な効有も最にのるす防豫を歯シム 課 いる下でれ入を学文な普適へ度の〇の下 題

磨曲ンオ〇ラ

◇業

界

奎 ァ

ツ

2

Ħ 너

¥

た 茎 前

の

儸

L

好'

評の

波に

乘

つて答案續

***** (积

到;

を殺菌して合理的に下痢を 商を被覆保護し、有害細菌 標審するこ同時に、腐粘膜 に有害物質を吸著 下痢の主因たる筋内の倡类

◇口間質、

聲價。

賣行。

信用に於て、

イオン

盘

12

優るものはありません。

◇此優秀な歯磨を愛用すれば、

歯も丈夫、

身體も丈夫になる事、

請 合。

馬達通歌大 店衛體昇長田歌 整 元 夏 馥

町本市京京 店商衛兵新西小 監轄 由風代京園

【平道】去る十六日自然府内冠町 | 剱箋するので畝南連巻では螺起犯 | 有のトラック助手術に前着はまで

人搜索中先月十日主政者由成日外

五月一日朔州郡九曲面から寂発州

て修然を加へて逃走した個人費

様であったが今月に入り又も自轉

面から現金一千三百四を阿商食へ

質で決賞したが韓は趙州青及び側の堤防が一昨年八月の大瓜水し錦町趙州青所有俗と隣接し北

廿一日記者團と會見して

三名を逃禰笠局し一時根超へた模一への途で朝義州益昌商登店員任日

車泥樹地行し既に十数後の居用が | 概遠を依頼され作幸衣のボケット

失つた大金

盗んだ男が

使つて發覺

で取調べた農笠日助手艦仁龍君が

無機材能は「三の金便ひが着いの後期州器から捜査中九側面延三羽

くなって遊祭に届田てたのでその に入れて持つて來る途中級失し皆

人が感じないので扱利所を收消をしばくく遺に説求したが同類し毀用の半分、廿五四の支持

胃袋に真鍮の箸

魚の骨が祟つてこの珍事

辛うじて引き出す

に落ち込んでしまった、サア

ルノくと咽喉を通り骨袋の中

下内地域行中の五島職助氏が踏釜

して食頭疾症に乗出すと否とに拘

と化し非常な混成となったが、目 名の立候補者は今や全くの自兵服 中立の四勢力に大明された三十五

らず問題の人物西條利ス氏が廿一

日突如記者頭に對し登見を望み次

た貨客争奪戦

中菜が上の治剤を起ったゝの現る分割特合手材元体でのが自動を指す

石炭灰を選集中の光明分に情人

【大田】二十六日三項で銀行の

忠南機猷納式へ 有地鐵製司个官

負にせた、且下母命危事、光州道 孫三揆 - シ 刺ね飛ばし 重傷を

立即能で輸血加坡中であるが加書

要談部司会官は「十五日 軍大臣代理として配場の有地信用 阿派革機忠南線の命名散納式に牽

松開人は紫砂上の過失機雷

朝鮮商船の新造配船から

南鮮沿岸航路再び時化模様

引出したとは壁のやらな話で

「新路世」府内梅林町四根海野芸

岩妻鴨江に顧落

商業路は霊器になって出場を決 高いた自分が貯倉部場になって出場を決 をした自分が貯倉部場と呼び流布 さいた自分が貯倉部場と呼び流布 さいたは対が緩次である。今頭 の格字を取っても最ないしの語。

四規列車を順天総進事を所指権関

居させてほしいとて訴訟を起い以上夫の放埓を認っても問いますの力で強制的にでも問以上夫の放埓を認ってしては世界

(光州]十九日午後一時五分三人

手採早戸(ごか選問して原天に向

かべく機関車に水を入れた後日車

経験見元は詐欺及の武装唆罪で起 門事件は滑州法院支職権事分局へ

歌明を發した

夫婦宣世 細君は逃げ

表る十六日一杯氣線でフラー、と|海岬丸(一七三屯)を大阪よりサ 司を食びカッとなつて数回の角弾 | 準間の京航許可を田原、近く就航 目宅に促るや、山の神から鮫々叱|日金山に同航し釜山人河東、蓴梁 三巻画松市里三二三世(中心) 大平丸、太安丸に発掘する寄造船で自宅に放火した馬鹿者、江東郷が、朝鮮前船側では朝代の優秀船 平壌】犬・食は白夫婦咆哮の果

永同郡民の

親爺は放火

の細君が異家に闘ってしまひ三日

の異々戯だ」と放言し、保員を苦

で成じたまではよかったが脱戦してるらしいので小様を得た南鮮の

警官殺しの理路

【安度】安康を発て入論した山東一ひの夫成男府山手町有力者金軒鶴

息芽に大野政治機能感心の名 山を探りした田透動銀理事の料

李白支に死刑求刑

共犯金は懲役十年

| お力に||月以降四子六百||十二人 (以上何れも優名)を相手取り職 | 8. 算に大野政神器を認めるを | 1. 一人であるが方は天地、 芝星より安 | 1. 市場ではまる「五百十七 (城門河橋の原族を銀月した。 文文 (東京) 1. 市場ではまる「五百十七 (以上何れも優名)を相手取り職 | 2. 下の | 2. 下

食で開延されたが主犯等自立には

出目されている

過で最近設和された状態にあった 學感で探算を度外融し猛闘争を凝し 【釜山】 昨年南韓海岸航路の貨客 した朝鮮汽船、光本回湾部、朝鮮 山、彼大な子説。」に去る防衛子、駅上目下陸重東岡へ中山、彼大な子説。」に去る防衛子、駅ので映川野では直ちに金子県を撤りる。 日本の 一部 大田部に建全線となる抵端ある | 画をを直找け、際盤、掻興食では | m)と収略し事を勝り、字はこれが| 良貞作成家養實式を暴行| あげ、その職務の結晶穴官三十五 | の節句飲酒し勘答の認葉事故 豊 亨奇知島明音 並に以優良質功等者健 機能の上国際飲金として郷へ寄託。原因で十八日組命したので十九日 年長者を歐殺

映川器公野美森非氏の手で解剖の

山東の渡り鳥

四千六百人

安東へ上陸

版は二十一日成異地方法院に奏在

【成與】成州巡川原面原襄里李為

妾狂ひの夫

日大田麓京城へ向ふはずである

みどにごしく

[華山] 話題はつかに会解

一十八日信報道泉を祝祭し二十九 一角二十六月夏河、二十七月大

胸にせまつて 實感がグンと

訳がにじむ!

國 産 最 高

一般是航路は丹び連轉して猛地な競 争を現出する形態となり成行きを 使入、領盗、强盗強備、殺人、殺刑があった、判決言義に來る二十 生れ会成主にご順名にから住居一死刑、武和金成玉に懲役十年の求 生れ住所不定学自立「そ、其紀江西」食で開巡されたが主紀学自立には「年頃」巡示殺しの犯人平北江水「山本庭田周院居内事、諸岡校事立

目轉車泥棒橫行 | 最近機能に自己重要機能 | に存むれた観念兼自場間は好観を | 神から平壌地力を設置観測対金線 | はまる 十七日 調査間で十三年夏 | 現内を前で通数 | 郷 | 回公列は眩暈の知くせ | 日子育士 | 後食 式 [金門) 醤山銀で | 製助水分も附入を加止数打の温度 | 投入、窓池、砂砂付加・製・ | から回食時温で替ぬ回じた | と参考部で粉数の下に関係・非常を必要がである。 全参考がや粉数の下に関係・非常 | を参考部で粉数の下に関係・非常 | を参考部で粉数の下に関係・非常 | を参考部で粉数の下に関係・非常 | を参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考部で粉数の下に関係・非常 | と参考のである | と

アラしたものと悲觀し、変なくて

戸に繋いであった役の上に乗って

恩給年金受給者達か

了防献金會結成

明となった ボの皮を刺ぎとつてゐたが足を

うかれ店員

學童生埋め

が多いので同租会では一個組合員。めてゐる 土砂崩壊し

須王子教授江戸監轄所創院機は「生産荷の最も多い。紅玉々に接近」ルトウ製剤を擁有し校証別総に募銭毀っていい「十日子会三時四十一素者に恐賊を承してゐる、しかも「にこれが闘除方法を逮選し目下が

治しませう

な整肌

を暗

色

的概要で未然に行さればなり「際常古(至金ハガキで申込れよに添い和しい病類ですから、「又は順月市山本郷子丁 自代院院に経り、「原本は一字版とキッケが同一片明月(彼の回)、明和師常子繁作と所得は千字版とキッケが同一片明月(彼の国)、「清善」(十字漢語日報管律・過き新級山市)

統営第一校の惨事 側の山土を取り巡ばんとするでか 大概ぎとなり直ちに戦助に努めた如射線し六名が下数となったので

門校で郵便を行つたが、同校は発は放後通夜を行ひせ一日午前九時 即死し、職務は、金融基の南君は 重傷、他は頻感であづた、學校で が、不幸にも梅祖婆羅摩君。」とは



下多代を極めてゐるが放近不順の 大蔵である炭疽病が急酸生し栽培、て地均らし中、五年生の数名が東 天候で低温と多速のためリンゴの 雨で新運動場が水間りとなったの で廿日二酸一時頃五、大年生をし





《白宮花(元郎守)▲等 東 裏 《金字を設立:昨内年生賦を若に擱」州戦は同に使欲してが終め入し代(元皇宗授会)▲(原封総が4側)を見ばして「大蔵金遺動を起した」金の成立に海邦總長得な同に「日代の東京授会)▲佐行島(元朝寺明を上版)州戦は同に使欲して経験的入し代(元皇宗授)▲佐行島(元朝寺明)

(脫給、甲金、扶助料) 者國牌戲 给宇金、扶助精中より一回分宛念 の離氏が、疑起人となり、全州受一同歌者を収録め近く給付きれる思

《元明亦興長》 「「元刊市」守山五百足」 一柳所に招き 各自年朝百分の「以上」を停車し作業或を置いて巡戦後に(元明亦興長)

を概念することとし六月一ばい

のと判った

修築費騙取

おいてるた陰にそつくり部のこも

殊遇に報恩の赤誠

[釜山] 府內大倉町流水源送出員

帳簿に大八

一名即死、二名重傷

娼妓に溺れ

一百分の一以上醵出

舊惡の泥を吐く

銀行歸りを襲つた未遂强盗

悪の本性ぶり發揮

かその理由は 渓(**)、同村舎元(**)の三名を相

万面宗院里的秦城巢元("")同安甲 な話の後見人話の祖母、挑乙玉は [語刊] 堤防修築型折牛負換問題

告訴事件——清州邑部町西 反對に訴訟



| 導者が現場監督すべきにも拘らず に男女教員が堂々と権直望に宿っ もので女兄間に非路の窓が高い 生徒のみを放りばなしにしてゐた た不能事件があり、今回も首格指

曾頭の野心なん さらい

お肌を整

朝夕の洗顔や人浴の後には必ずウテナバニシングで

タ地肌を美しく整へなければなりません!!

適はしく潑剌としたお化粧をなさるには

へて下さい。强力な美肌素がサラツと皮膚

深部に滲透しキメを細く培ひ皮脂の分泌を健康に調

正し小皺

した色白

の若肌を育くみます。

の陽焦けを完全に豫防してグンと彈力のある潑剌と

ルミやニキビ吹出物の原因を解消、初夏

へものであると共に領鮮中の物 山地部二ケ研へ政立する計量にた。使らに波瀾を報き起すことに考 する仕組みで先づ進門でも重異線で來ても自分は掲ញに粗組する 粒種の製を亡くしてから以来 | 妻場別数に前車をかける一気と 四條さん立場聲明 の開語家が平等に出費して基金と

各氏の推論支持器との数ながらも の後に迫つて、立石、西條、五島 山南端の食道様は紫緑地口を旬日 【釜山】廿萬府民の血を誰かで釜

平隣貝で結構である。 ってゐるが、阿祖会我既は隣保洪

產金共同組合 忠北区組織

「近州」忠北海島では張力地下

不注意な機關車

関策に関連せんとする種めて機会 に適した試みとして酸型されて 助の際しき精神から田鼓した産命

























水類·器具を汚しません





これからは下地が完全 を整へて下さい。白粉 がしつくり肌に落ちつ 班前には必ずウラナッ でないと折角のる化粧 エシングで充分にも肌 か醜く崩れます。 や化 とかくお肌の汗ばむ

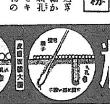
3一日中永モナします ですので誰方のも肌にもし 化粧が一日中永モチします ッキ決してお肌をアラさず 別の新工夫が加へてありま 粒子度が日本人の肌に最適 っからノビが自然で美しく つくりと落ちつき温報なる

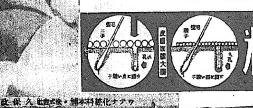


定價・七十二錢

四十錢

お生物の粒子は細か過ぎると大切な毛穴や鍼乳を変を胸腕書を起してきを塞ぎを胸腕書を起してきをいままたの細か





原因を造ります。メを粗くしニキビ

人の肌に最もよく適つた理りテナ粉に続は料子が日本

汗や脂らに 所れぬ粉目粉

お化粧崩れを防ぐ

理想的な化粧下

ウテナ粉白粉は粒子に特

田河地名

の効果に動き、膨胀してるる大路であります。

~。これに就いて設近、 新聞紙に 母體の鬱命を縮め

お乳の出をよくする

ミンリ負け等による肌感の変快さ、そしてカーをできます。

服用して未然に病

氣を防ぎませら。

常にカストルを

一寸した病氣にも

か旺盛になり傳染

油斷すると大變!

病が多くなります、

これから病菌の繁殖

全に整へます!

母體の過重な負擔

雷地の中脳技に奉献 見を分娩する事が出来ました。その時の喜びは 来「鮭鴨わかもと」を取んでるたばかもしれるへる事が出來ませんでした。 成が、私は一昨年 の鼓襲の爲安産する事が出來ようとは響にも著

申されましたので、今更の器に「銃蛇わかもと」けて圏用するとよいですね。」と笑ひ話の様に で、信用ある啓者にもと思ひ、小世第一の病院 間で安重することが世來ましたね。多分「鉄斑」とて、博士の談話を受けましたは「よく貴女の しかし酢後の肥立が思はしくない様でしたの

照わて二見を思まれ

全く習へようるない程でした。

産 報覧の不是から、お歌を分离する 一を 観覧の不是から、お歌を分离する 一を 観覧の不是から、お歌を分离する 一を 一を できない 一を できない こうしょう かい 一番 でいかめ する様になります。

よいお乳を多量に分泌させる

には各種の貴重な繁養者が、

母姐の先天的の鉄路によることは、

は、生物はな一といはれます。
は、生物はな一といはれます。
この「蛇蛇わかもと」中には、

が豊富に含まれてるる許りでなく

とりますと、日本人の一夫婦から はたりさせん。その上郷好には昔、宮の総野を招き、醍醐を簡まれる駅でも有名で、皮も磨者の総計に めに、多くの母乳を供給したくて、あり、自然釈迦が不足して、脱番目本の婦人は、多悲の方では世、呪いれ、出生すればまた彩見のた。これはいけないと解釈する師さが

七人の子供を出産

學醫庭家

氏 届 灰 與 宮 松

身體の衰弱を防が

得の整肌作用

統見の質牙骨様を造しカル

は、不均大七人の子供が生れると一から、飲食について、あれは悪い一といふことになるのであります。一かに恢復日本ものであります。 上なく愛用さ

暑さに向つて

到等の必要が成かれ、一般家庭に

の内服であります。

口より入る病を防き 精神を爽快にする人

> 健胃整腸劑を配合す **罰と相処力してとれを治療す** &を増進せしめ下前腸カタル等に整腸劑は移宿 使つて胃を健全にし且つその消化力を亢進し食

口中殺菌劑を配合す

劑と効用

する諸種の病菌を豫防し精神を爽快にす

機能の活動力

を旺盛にし口より侵入

カオール二三粒を服用すれば心身各

興奮劑及强壯劑を配合す

清凉劑及變音劑を配合す

定價之容量

一次一時日本數

「一時」三百十數

阿萨萨斯斯斯斯斯斯

報會 发起 安藤井筒堂藤品香 東京市日本橋區水天宮前 ることは「見来ての背赤」を御殿

るに解脱を中心上する朝鮮

一番初めに描いたのも、分で獨立してやられて今ま、悪い、或之機に能く出來をか、此

半島の〝契〟

塞ス級はず、少し仕事が疎漫 W欲せぬが、試にIIIの所感を のになってしまったは愉しい。 金宝園なの『夏田』

たい。之を今年の成績に就て親

花柳金で藝は賣ら

金で藝は賣らぬ

弟子の親に脅された話

で門下生の斑し物と云ふらのはお【川耳】さうして、よそのお淺ひ

大衆の舞踊、其の私の考へたのが

【近隣】東京音順も貧女の振附で

お手拭 お 素肌 お 液床 等々

オーデコロン(一名 薬館香水)は野道 と非常に活英な香氣を源はします。 従って

一流です

料理も……格も

料理屋なら

【近離】各及にはどんた方法を原

一些郷太夫は出ますお

バックショアー

三越で個人洋路展を開いて「第一

その一ツとして有漁院者が大流に、も亦者境に職き、五所下之助に水 総へ送り出されたことである。い病応生活から離れたとはぶへい

| 鎌木の忠京副を展出して来たが、「議日観日、脱谷久度、成神に立男|| 部門に亘り多次のショックを受い 駅の層線は次に地に依して起しず

こちらかといへば割合にらくた課 顔色なき古参組

支那市理が登以来我が映画界は自一州萬作。伊藤大嶋の如きに大映画 期待される人たち

も少しむつかしい題を出しませう 生きた金魚を限に入れて描して見 高木氏も同行 入選艦を持つてある。なに美術シ 「臨職」の高本紀重氏も群族見學 伊勢夫、笠井塚二、中村被邸▲
◆松竹――遊谷町、原研吉、蛭川 別に買人を駆ければ―― であるとされてみるが、次に各社 船の避谷氏、東極東京の山本藤夫 阿班とされてるる。新人中で最も 然性に乏しく戦闘隊にかけてゆっ してるることとがその最大のもの てうで、その表演する整徴として 制備たるものでありながら、質的 削から高く買けれてゐる人は火

映路で終って了った、この缺點を

「それにしても方角が選ふから」

「いゝる 向から行けば近いん

東京の江戸川で乗った車だった。

夫人』ではなかった、率ろ『娯好

撃 顔 だより

「料金を輸附に取からとは申しま「私は七十二、飲鬼は三つでさき

私は言葉が出なかった。しか

質がたいが、大部分は己むを

せて下さい。安音多罪。

帝展の常連

秀穀氏本る

る人

名に書かざる存在を占めて他の

純情天人

老車夫

佐々木唇油の監督になる映過にと

へないかも知れ以が、松竹大船

もち少し部川のあのざつくはらん

が、車上の私はさきもさした。

きりさせてもらひたかった、これ

「いくんですよ」

老重夫は、ずべてを心得たずう

東洋畵

和田椒三、山内俊英、



艾提以來前提、有文級上十個詞心一等發氏、左は高水氏

新進監督の擡頭

「知られ花鳥を得職として、前一でせる」と語つてふた

ミウ主旗『我は海の子』

◇□□日活多雕川でけ城策線に沿 映窗ニュース

数をして居たつて女中が言つてき

したが、だけれども内心は恐かつ

大時見倉閣(県)見えない 大時三〇分 ラデオ市議 全七時三〇分 ラデオ市議 本七時三〇分 ラデオ市議

代理店 北鲜商船組 化新角船组

理研清

画

一十一年 いっデオ



お手拭に ふりかけて出す程の オーデコロンを

机 代理店 宿田商会 代理店 朔姆遠羅支店二 化理店 朔姆遠羅支店二 九日 船川、岩森、

らか杯ーのこったはさし々清の

社會式抹頻酒积昭



















五三二

脚家と軍治株の潜勢は顕著 三関三と一関安二新四四回 | 対大関丁と一間七安日本

調を見せ質料は極度にに緩緩増大して投物現

三和株式現物店

高寄り後

一部は山東から少し綴っ 一部は山東から少し綴っ 一部は山東から少し綴っ 一部は山東から少し綴っ 一部は山東から少し綴っ 急落 後持合ふ がき商駅を呈して前場を終了した。 での十八を押折し四十八般を約買取と前頭 に四十八を押折し四十八般を約買取と前頭 に四十八を押折し四十八般を約 にのは、1000円のである。

纏つた賣物

の異似が縁はないので常ってしまったそしてアトは一環れるや忽ち三十九銭と引起

変から中南支の方へも好く変れ るので内地に移入する数点は繁 があってないかとあった~し で見るとこの上玉本米の歌通を 駆ぶするずは申つて結本に編を 握く事にたらうも単れない

今秋田株式現りで

電話本局② 515 穏の民川脱粒が袋結骸が近行時代で跳

「頭の出す時であるされに本来は上頭の出す時での別人月からは本天災」 信付成績良好

れに工業組合金で 出しかけてきたと

不足ととも人物館も観測になって足ととも人物館も、といれると記述れるわけだがさてこの際型や組合の環神教行者をとう認ぶかが早くと顕新の種となってある。 安村や原料 てきた 池田蔵商相の初放送も案外しつ

新りした計詞で銀行家としての がりした計詞で銀行家としい誠の 大きが駆せられて科協和や 腔数 作業者の股票機動が送る股票の が表などの後期な動きを離れて があせられて科協和や 腔数 作業者の収売機動が送る股票の

月中旬仁川港から移田せし米の 仁川港移出米

と云ふ主力筋が多いが薄んでからでないと質進めない であるが植付終了後の青田春め成和から見ると近半稀に見る良

東部の最生なきゃらが基下る 東部の最生なきゃらが基であるが二十 大程価付は好成績であるが二十 かせるものがあつた

3手初めとして二十二日午前首

当年、大鵬省の各省と毎週二回定りに五相登職を設け外野省、畠、

五相會議に併行

咸北道廳、朱乙陸軍療養所に御成り

同時に第二期政治工作に邁進

| 「北京士|| 日間型| | 種的に働きかけることになった。 | 治安部では活動所部隊に武器、中國歌時政府はこれ | これと共に集らとになった。 | 治安部では活動所部隊に武器、

に貧しては戊口政府内にも源文共、内放整衛、財政の兵器整節に基本に、同宜首の主旨、することに決し、新政府成立立来の反右を促した。同宜首の主旨、することに決し、新政府成立立来の重置を設し郡政権立下の民、目的とする外二加政治工作に逃逃 で、これを機合に北支治安の拠底 撃ての他相當の援助を行ひ点軍部 【ワシントン廿一日同盟】 英米廟 對日牽制說

個力し時間政治をはからべ

、愈よ游政権治下民衆に赶し、税

【上海二十二日同型】二十一旦

臨時政府治安部

來一年を超過し北支各地の治安は 【北京二十二日回盟】日支車糧以 | 膵臓が脳膜を患出でつつある理状 て奥地で挑戦を行いつつある共産にほみこれら脳順部隊を再編隊し

湖南省地方整備經濟建設のた

朝鮮漁船都洋丸栗組員の口から、

歸鮮者の口から暴露

製工作 投を践って 闘弾したが

國報奮貯 問週調强

費節約皆貯

ドン廿一日同盟』スペイン 不干涉分科會で可決

文謝度の長前部としての戦争に忙 一 がなとして完成を急いである襲電が毎別は目下 がなとして完成を急いである あり、且つ今後の軍事提覧として 料道によると國府の選都譲定地で ものと見られてゐる、 大飛行場を建設 行士の養成と飛行場の防御施設は 黄沙を爆撃

欧は二十二日早期より活動を開始 【香港二十二日同盟】我海軍航空

臨時政府治安郎では被

『佐一四二子を施する手順和及び 飲りとになって吸退した。 し始めたので、さきに影響附近で

事變處理の國內工作に努力

び称路数ケ所を提破又は切断せ、) 卑漢線道 攻撃部原は 祭削

末次内相は近衛首相の希望によっ

每週土曜日朝

【東京電話】近衛首相は別項の如 首相內相會談

敵の機雷敷設艦を

|後一葉歌雨と歌歌を聞いて〇〇集||に飛び蟷螂に棒跡の類形に切った|| アッと云云間もたく附近の繊維に「高京二十二日可型」二十一日十||一次は直りに厳艦と数よりれー|| 都に分甲、直ちに黒顔を叩き出し 地を出發した〇〇様は、長江の調」この、低空弦響に敵艦は、新蛇の高、栗り上げ艦首を水域に渡して修り 記者に對して語った談話内容は左 観出が昨日漢日においてドイッ [香港] 丁二百同盟] 外交部兴王

かった際、江上に全く見なれの紋、舵を破壊されて江上の一點をくる。柳は作び耿珈を馬頭鎮上流紋十選の附近に差しか。かに小銭を散動したが、蜿蜒は暮られた月間にて一流にからて極度の低空飛行を報じ、鉄磁神路銭で振歩する環もなく他、無疑な、透戦と化

んに敷設作業に従事中を發見、 と我搬注艦上高く離上り一菱旗撃 と可敬位の最新越機留敷設機が盛一く一種り始めた、この機を逃ぎじ

王の妄論を反駁

その他の問題

耳ることに對して國民の恐怕を促し

策を秘誇するために更に關係職策登録の必要を示唆した展に對路して現在の五和登議の他に財政、内政の事要政

一一十二日の否確及び上海

相

會

やさかといふことについては触れる音が役として適當にやつてはない。ことについては触れる音が役として適當にやつて

るものであるから、第三国の副

小麥 飞直7110石(五 屋

職日と月曜日を切り換へ

接高商

H

凊

著

價 · 五〇 送· 1〇 页 第 判 二二 ○ 頁

殉裁主義

株式

會社法論

が、右に関し我が出光間同は左翼

【東京電話】地方行政機構改革

計實務精誌

る取締役。支配人の監査役の荷算

動飯

村

淑

蓍

京料・□ □ □ □ □ □

設立より

迄

野岩 垂 本書は合地の設立な企画する設式人間経業務に個る取締役。支記人。等為本書は合地の設立な企画する設式人間経業務に個る取締役。支記人。等終系事級第二に占っ者其他経験土計基土諸氏の関好の参考書である。 社會計實務誌 至著

(一) 四萬なる例示—(二) 法规之参与理论と 實验的關稅國人 (一) 四萬なる例示—(二) 會社商樂校區及組織に関する實體的研究—(四) 有土地等計計算例示—(五) 各種會土民企工。有其的意义是一位,

一京東座口替振

下臺河駿區田神市京東

舞姬 中村武暦夫氏隊 アナトオル・フランスの作品中、中村武暦夫氏隊 アナトオル・フランスの作品中、熱と、吉朗とが締めれてゐるのた。 「難母ノメ」が 図 である。との深超な量資相処の「大地理費告に、そうり、週る淑なくなつで深る。 僕など、との「意故にとぞナトオル・フランスを偉大なる動物家として、頭を下げたいのである。

附されてゐたソ聯邦冷凍船レフ

ル・フランス略年間」を答末に添附す。

次戸俊夫曜 ファニー 送料十個 に ファニー 定頃一回

大著 空间 第三四二頁 局無裝

田士著 四六町 三〇五貝 保道十六英 多くの整電文士のうな。 保売日田町 の間一面五〇銭急料十八 たのは学田氏であつた。 社会連続を奏到すったので現在事機和也書の表してによるもので現在事機和也書の表しました。 十官 季枚両名 ことして指集した にったい はら消彩を放っています。

カル小品集離酯類は一颗粒の調整におりかれ

皇國臣民たる感激

深く胸奥に迫る

京畿道青年團內地見學團員記

Aは去月廿七日点 適一音中閣員内地 でありました、是より祖隣日向 全 仁 圭 は、筆音に表し得ない深いもの

私共、京、鉄道 音学開員内地 日本は一句・10年 日本 10年 日本

の金銭城に亙り別な研究し、これ 首相官邸に於ける近衛資和の野梨の色の代表が、文化、風俗、本ったことは監察の如くであるが、ために彼は、私郷、文化、風俗、本ったことは監察の如くであるが、とは、大学のでは、

を以て右政策樹立の芸健にらしめ

その他各方面関係者の指標を以て一

っため、最適財政部僚の歌時掲取「信用局長、軍司令部の九ヶ所に封

軍器の光星に遺憾なるを振了一者、機監初め関係局長、総道、選

公政府聲明を發表

支三國を通する組済フロ 粉盤用疑題につき全面的

の制限を緩和し、棉花を主とす。一、関係収支計造の開着なる進行原料支材の輸入については從來」「よした」

計畫資本異動

|状況は(単位于風)

糖に関わざる範疇において曖昧に公開する方針を執るはずであって、同計概葉が深色質の大葉は左の如くである ている。最時球攻縄飛攻派に計場性を始集し、もって非頻繁層の目的を述かに達成すべくこれが實行の歩を進める最前である。 「原東電話」政府は二十三日の臨時間議において企事院の立案にかかる物芸器給職員計載を附議決定しなる上長期版に劉鵬

高四)、朝鮮砂金鐵墨 (1) **国** は|青緑紫 (二千萬田) 朝祀

と述べ他の関係方面も影成を動し の新設の外朝鮮油脂(百十)

《五千四排込》、顧安砂金(冒萬

路を開いて十八日深度〇〇に入

本に「保管保護が完成しないう」の編集が支車の五十米近くまで作った「大正保管保護が完成しないう」の編集が支車の五十米近くまで作った左側が上に出てまたよめや。 は、ちれました」と報告して来たが、このでうに現れてあるものは官 両行・夫少者は(木神府職員)と、ものものに現れてあるものは官 両行・夫少者は(木神府職員)と、ものものものとなったが、このでものは、「大の職に交車が接近してあるため、「大の事を必ずに登画するという。」というました。

衛高級][原

保險料拂込期間を

が割安であります むべき保険料總額

(國五段二科語) 號 月

又は重くするかは づれの負擔を輕く 分し、前期後期い 長短幾通りにも二

七段十八個時

集脉力堅中

洋山鳴音世嶺日竹飲わ

加入者の自由であ

連絡がとれぬので優秀な兵

資需給動員計畫

同部的に歩へられ、教育機関 その呼び強きに反し、極めて

日本に於ける體育は、

の二點は特に重視能感せしめの二點は特に重視能感せしめ

みならず魂の顕微描ともさ されつゝある。 強位の向上の のものとされ、厚生省の気候使用上運動は関策の第一義的

い。之によってはじめてスタ

て一般大衆の生活とは迎難し

社 說

體位向上運動場を

全半島に及ぼせ

作件であるとの理念を深らせい時間稼を基礎つける大きな

既位明練をなすと共に、即以

滑士の意氣や軒昂

萬を破り

加立を行ったが事業風域及役員

四 配利 當 数

契約満期迄に排込

新 馬 場 孤 蝶。鳴 田 齊 館 田 野 恵 城。今 日 夏 献。今 日 夏 献。今 日 夏 作

五大特長

七段十六個特

いた。 いたでは、 ないでは、 ないでは、

夏人他詠池登

二十日創立總會

伯盧村で決死六日に亘り奮戰

中村部隊長當時を語る

に節録ある行動をなすこと

安となり先づか倉大邱商職管頭よ一般明を夫々職家の後、宇島越湾の一族の大陸競技に買して極力等處す

る事関係の標準ではに関する「き食品の交換を行ひ、結局や島語な立石釜山筋関党領より中支に」地位並に観測開発等につき駆乱な

やがて国民全社としての

術となった。半島に於て

し、その真態を担縁せしめ、 位前上潮動を全民衆 に及ぼ 位前上潮動を全民衆 に及ぼ

るのが独位向上の運動の本旨

だらしめればなられ

で推進めて行かねばなられの

在運動場を開放し之を一般氏 の前率性相助の觀念と開催的 会的率性相助の觀念と開催的

現ひ合戦をやるのだと豊壯な悪情 六日友軍の飛行機が来てくれた時

ト院外交討議で チ首相重要演説

英政府の態度を闡明

はくく 競逐へされ非数周共に置います。 に関連を無視した行為が今でもし に関連を無視した行為が今でもし に対した行為が今でもし

入れて居らぬに敵弾に苦しめられ

血まみれになって殴って來た、十

大谷は二十日神戸商工在議所で開

大會で決議

更するだけで、保一將來の保險料を變

允叶状龙

(國五段三种法) 號 月

勝斉地から電楽の十一組合代表

保険金を受取る時

方法があります。 險金を早く受取る

期は遅くなるが

も出れれ、三名は途中をで行って

パレン首相は二十一日午後下院の 【ロンドン二十一日同盟】チエン】」、常邸的目標の場象に質つても

鮮米としても

東亞研究所開所式

愈よ全領域に三り調査

日紡清津工場 年内完成見込み

新手した人類工場(日産:1十世) 日本紡銭が北岬の海洋港に建設 **米店ペルプより供給を受けるはざ** 見込みが立つに至った、なに原料 ·臺京支社師】昨年以內地繊維T

夕刊後市

東洋紡定時總會

京城府黃金町二丁目

関連を持ている。 ・ できない。 ・ できない。

(電二面) 始開本配回一第

東 動産評價の理論や實際 花島得二

著

(定國)大 周辺 四(石) (定個不同)

藝術と生活の顕髑に觸れん て集成された待望の隨筆集 五百八十頁餘りの大册、著 者は本集を讀め!!

其書隨 他簡筆 次 目 容 內

(始開本配回九第)

五 保険料の拂込を中

を軽くする方法が

保険料排込の負擔

方法もあります

(商工省届出

身保険に變更する

は元通りで拂濟終

止して、保險金額

贯全集 製上判索。 耐九叠 鐵十八萬二 冊 一 鐵 四 十 科 送

行方法は努めて民間の自治

内に本店を有する合計の資本異動 七月七日を期し

二十二日午後二時より京城商職管

研究の餘地あり

鮮米温度問題との他重要問題の當一その他取締役、監査医等同れも重 の東上中であつた下板坂本府米数 **卜飯坂米穀課長歸任談**

任と決定した 愛國無虚を

質行に入るが新無磁は三ヶ年三支 なった。これに横いて金蝉:弊に **育用でも其の趣旨に全的に鉛点** 電磁管の変質無素(小質) 月接七国九十二年で貯録の前面

り且つ識別し得る

松の称も

縖

斯鴻零雁記 医牙牙 医牙牙 紅 ヘツベル著 玉

石中象治譯 **調林木類・畑田弥特・配樹果** 他類 六解 編 第一時、共同協の形成法 現然的 日本 現物国際 (日本) 現物国際 (日本) 日本 (日本

いた珠玉の短幕七つを取む。 著名は獨逸郎質主義女巫の領一人 著名は獨逸郎質主義女巫の領一人

不用人。一生 上脇進譯 男電 を受け、十一般 選挙では の動きを一部領の年語を中心にして
の動きを一部領の年語を中心にして
の動きを一部領の年語を中心にして
の動きを一部領の年語を中心にして
の動きを一部領の年語を中心にして 一 版を深刻利耐に拡ける大型交問。 世紀初頭に於けるロシャの人間高 ヨーカサスの大自然を背景に十九 ヨーカサスの大自然を背景に十九

ゴーリキイ著

倉天心傳 ・ 停へる唯一紙二の序記文庫。 像大な原質を強した天心の像線を 日本実施の革新東洋特線の祝揚に 定 個 五 十 領 選昇六歳

現代

Ħ

業案內贈

造 址

振潜東京八四〇二番東京芝區新橋七丁目

改

小文相に與いる書・杉森孝次廊

全鮮庭球選手權大會中央豫選 準決勝戰(組合せ) きのふ第二日の戦績

資專 執商 (李基) (李基) (李基) (李基)

本事變第三期戰に入るノ先づ敵情を知

危機解消せず野村軍太郎

古屋芳

一文略の意識・微

青脚、午後四時、京城球場・1月 ◆京城中等リーグ▲

畫監督論·上 野 耕

池田藏相に與る書・土方成美

植民政策論:古垣鐵郎 尤

閣改造裏面秘話山浦貫

三外 交の新局で新段階 を經濟政策を経済政策を経済政策を 新言果

> 岩登りの味・浦松佐要念 陸軍の恩人西周・麻生義

文壇的自叙傳·正原 敬·原 敬·原

腸疾患

SANKYO

WENT'S TO LET THE PARTY OF THE の手術なない。 の手手大ない。 の手がながない。 の手がながない。 の手がない。 のものがない。 のものが。 のものがない。 のものがな。 のものがない。 のものが。 のものが。 のものが。 のものが。 のものが。 のものが。 のものが。 のものものが。 のものが。 のものが。 のものが。 1版 的能力 * . 30 三 外 你 女 母 你.

★チエッコを練る欧洲政局─清★欧洲の危機去らず─伊

肺慢腸鼓急人異 廣結性性腸性工常 核腎皮 炎膚常慢養 病習性兒性 糖 便のの せ尿黄 **(数** ら病疽麻祕 腸 疹其他) カ化 等 A K ル

榮 醱

酵

F

消 痢

不

良

密な乳ラ 家る酸ク 一直と四十 に效製ス 定果剤タ しせ 確ては。 な品本 る質邦 はの鳴 實 優 矢 驗良の

ζ.

應

用

る。

あ的 末配 他に大乗った。三〇瓦 会売

株 式 會

東京。宝町

三.

共 社 中郎の明に合せて

この間は作曲者が「鬼に田位」

観た域によ田のくればに赤

自もお母様につくつて戴いたお

機器、体を時間は検腕へ出て、

際、家の前の消路を近所の人と一

(横き消める、七時頃には朝止

一般へお参りをしてから盛いお日

流し、弓水原路をする神能と

一庭で朝の準へだ空気の中で それから歯を磨っ

解説・東部。それで

安建、北震山、河江草)

日本の身體領域の長い時もこの時 一供にも、起京はひる米節

海に、味に朝鮮の場に何岁

しておさらひをして疑論をせぬ い様に、夕仰飯がすんでしばら

通しのよい場所にをいて遊使さ 者でに向ふと組織の見味がいる 俎板の臭味を抜く

實(又は白部麻) 育(又は白部麻)

極めて簡単ながら風味は上々で

| 蒲鉾の松風燥|

角に切り、西と野油を出せた中へ

ねやちに帰る。 赤子の質から初

步留乎

似て、小州民は光手を取つ

押らへ方 先づ消却を一寸五分

【第八局】



子供へ 注意

夏は心身鍛錬の好時期です。 悪い病氣にかゝらぬやうに:

い種で水に油を二三流落っとしつ

油をつかはないでも野蟹柑の られ出て唱をいためません 他をしませておいて洗ひ、最後 祝髪の際には一度頭の地肌全部

上げたいのであります 要と致す時期である事を特に申-



長限の外田植歌尊とともにピアノ 一品なしかも日本的な近代美と 化の相の浮かれ田たやらた解談 っるもので、ともに歌詞はなく は六段に對して質の近代性を象別 悪料、何村の トリオで 腹る磁 かにするためで、花柿辞美の新 れ、地に琴を出さないのは賑や 一脳形式が多み出てるる、一美、

に応了し一人前に切れを器に

すこころ、脳七人分の短回形

れば折縦上り取り外に長されば折縦上り取りをし

先の胡瓜を原政のないやう」折縦に平面に入れ、共の上 致します。これを適常た語りを云る。さらして糸造り

そかさが感ぜられる。 新形式の

ひよく絞り気に取り充分にホ ひょく絞り気に取りたい、関係して、木にて洗

火にかけ部目にトロリとなる

ダーピンなどやさ く和原向に生えぎに フトであどけなさを

「ドに一同恐地――。東京のお人

アイアナ・ダーピン型

※舞踊會の稽古場 :: 他

でも京城連さの握手

に東京の舞踊が負けた― 『あーら、怖いわ、京媛の監督部

が住し、同は記事、図書、派芸の 中で且つ日もたり良く見ない所に

| 大江戸城分を横端でせてきほび

助膜で苦しむ

全身が化度酸に對して弱いのでは う、之は個々の原因がありませる

> 「種質療法」順用の「重症用形形丸」甲三十年の概性的情報が「天光療法 を慰謝に通ちた手軽によつて明から問じている。

派法「種質派法」階月の

でもスケな手間に

ワカミヅの 圏形的性能 なるでせう。

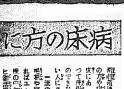
飛行ワカミツで手、 類頭りや、 ハゲ

や血管性の置ついて思る所をで表る内及器の手のととかない皮下的

|【答】 病名としては肥胖病

梅毒と體毒に効果勝れたる

定配音を配置を配置 るので大いに喜



つて微器 のがや病 理想や頭皮を清潔にすると共に、トモす 流の昏水に ĥ 復さへも早めます。実気見舞にゼーウツな気分を明前気快にし、壁 敵する流転な動りは











料毛養の社談誌る誇を行賣と用信るた然断中品種同の外內

(りめに店品紙化・店乗るの用間圏全) 錢十四圓三 用徳 錢十七圓一 瓶通酱 [仮定] すまひ願を定指御としがミカワの肚が間 は間の求お

病病の液血 治し方を誤るな

(の辞職に合つて、小畑氏は、世だ悲しむべき周面に陷つた。 声

赤貝の寄せ胡瓜

外し、水洗びして脂を去り 一枚に例ぎ切り際様してヌ

後手悠々ご應戰

先手の玉碎戰法

記

其處で一歩を取つて金頭を叩り

m」に原成する場合が非常に多く 液の狭いである「※血」「汚血」「 病無も色々ありますが、其中にも

記過合が多くあります。原因で

安眠が出来ない、幽経景體の何

仕事に他きるい

飯

塚勘 一郎

なんで際にかくれて人間を苦しめて のクセの悪いのは、表面に能源や値 のクセの悪いのは、表面に能源や値 く前ついてゐたり、酒、煙草、肉食る簡諧や、稅袋の像面が難内の腹端は、十つかり治つたと思ひ込んでゐ 込んで脳にかくれて人間を苦しめて月経の路能够が、血液の中に這入り 母の股の音系中毒や、婦人の方ではく納ついてゐたり、酒、煙草、肉金 設部] 「荷盒」「古盒」といるの

治し方 ぴつたり合つた

形状を

所判となって 運動の例的帯出物

醫學博士井上猛夫先生 掛 札功先生創製

養毛に・美變に・毛生促進に・確信を以つて御愛用を御暖め申し上きます。 け致します。 湖天下の巡謝と信頼を集めて於ります。 間にも 定請あり、湖天下の巡謝と信頼を集めて於ります。 フォミブは從来の養毛料に新しい便命と正しい認識を無へを奏しくしたい、若返らせたいと云太様な御注文はフォミブがお引受整を美しくしたい、若返らせたいと云太様な御注文はフォミブがお引受をを美しくしたい、若返らせたいと云太様な御注文はフォミブがお引受をしている。 がみ・ 披毛 箏から 薄毛・ 岩売・ 切れ毛 筆の 値はしい 陸書を 始めフケ・ 辞み・ 披毛 箏から 薄毛・ 岩売・ 切れ毛 筆の 値はしい 陸書を 始め

びつたり合へば効きめが判る

梅毒と體霊

色々の病氣を起すが治療法が

があると

陶 俭 玉 🌉 社會式機 店理代總 都 寧 應 社 讀 觀 會 關 雄 本 日 大 川石小京東 倡 本

靈峰の地下資源に

西茂連都に京都道投坡路洛湖里か一事の中土方を要請したが平然自動

9名が慰護婦の結高過失是を修築 のを届にとって難らず相対時里、6被婚を使って乗合称を連続して 車倒は忠東武殿の昨可を得て ら

受面漠地港茂船場突堤延長工事を | 別烈師選送、仁川汽船、海洋社の

【仁川】牙山潤入口忠南唐津郡松 れを知った同方面に駐路をもつ仁

片や平澤自動車はあつさり要求を一蹴

さて當局はどう裁く

た葉石を打つて作つた突堤を東

【春川】江原道では畜産の地理機

五ケ郡に配給

種家畜增殖

期成會幹部に暴行

職業學校の寄附敷地を繞り

晋州に暗雲とざす

994――平澤自鵬車合配ではず山「のとして窓信周蓮事業に隙情して、総の軽凱業者周平潤自鵬車合配の「三輪搬業者が航路に燃燃を来する」

平澤自動車食むではず山

すでに四千餘の多數に上り

収縮當局手を焼く

く特に多米並且つ概定適當な行品一長、酒肪粗幹取、青年度、金組埋

種目九號×安一〇七號及び日一一

祖集し既空調智なを開館、平山岩山本野巻官就在所首席等二百餘名な

の防空歴観、永田郡圏の防張防火 長の路路をはじめ道摩託師部大佐

『花婿はこの俺だ

前に婚約をした未練の男

結婚式に暴れ込む

ことにした、本春は天鏡に恵まれ 一號×支1〇七號の三種を加へる

可されすでに整工中であるが最近 **本面別彼亚工業食吐等に採掘を許**

批覧するため、関係警察官局では に遊掘するのみかあたりの木材ま も歴化して領峰の骨膜を関らず

麥の適刈 棉作肥培と

間を、概作肥忠、並に変の適勝 質で各部格を骨配行即中である 「東週間と定め、井上郡守以下圏 春川】野際さでは廿一日から一 深川郡の棉の作付面積は七百計

第4 肥铝管理に遺跡た指導を加へ 利子で震速し共服時に回収、一方 あり、共坂出起り計英庁を目標と 7歩で御年より二百町歩の増加で 同語なでは肥料光三千四を無

大観半年作に建するものと見

選に申出ひ、沈英媛爾氏の筆歌劇|劉動力不足は石炭部門だけでも祖 龍仁道議戰

り芸典面から李鍾氏の出思があり、いて約四萬人の勢動者を必要とすとかられてゐたが二十日午後に至「虚五ケ年計畫により最終年度にお

宗委に敬念せわばならないといふ | 成に留る方針を鎖て目下具體的に | てゐる狀態で過ぎ局では引つすき

工事界は二萬人 遺質局では近く本府に一立案中である

前途は相當憂慮さる

和 念し勢力信加速脈によって地方駅 たので今後は他道よりの移入を脳 たので今後は他道よりの移入を脳

春川の各機 關總動員

【龍七】廿七日施行される道議龍一乗り出すこと、なつた、本道内の

たため最高されたほどのこともな

石炭部門は四萬人

滿洲移民を禁じて勞働力培養

労働者ならいくらでも來い

【平頭】 王原正における努力の大 | 炭岩症計畫を既定題り完成せしめ | 並内の質情を上申するはずである

と誘師も朝鮮、内地における極級

に緊閉な終了後し、二班に分け内。【七川】公林日に輝いて國院総会」を指摘し斉張智振を中心に打合するに支部に左の如く決定した。 な きじじ (り) 本間人団 | 議会で各面音楽技術員文が供答記|

原職して記載されることになり日 い形物である 日支交配の

江原道主催金剛山で開く

公休日に家

でも三体域、子伽相、毘威昭さて、「森川」武原金雲科美でに来る。 非常によくために供用状態に改配する紫癜の群(黄神製金家に供給うべき)原教訓三(し使良霖補であらう見く主業者から三体域、子伽相、毘威昭さて (春川)武原金雲科美でに来る。非常によくために供用状種に定め

なかつたにも拘らず登見の解育は

防空に関する解説があり引撃で終

認識させ更に午後入時から研究映 英婦實驗を行ひその偉力を一般に

配顧を徐びて 今正に行は 礼や 削削手順等は突進家であると階級 いては2つけられて果さず精修に乗賃百餘名列席、心からなる 内に類十歳名で本件の原因は今春 はして置かない。と春かしたが「上来賃百餘名列席、心からなる 内に類十歳名で本件の原因は今春 はして置かない。と春かしたが「上来賃百餘名列席、心からなる 内に類十歳名で本件の原因は今春 はして置かない。と春かしたが「上来賃百餘名列席、心からなる 内に関する の本主里一次四米飯商申集後、一方にする実は哲学、全を終了したが「上来賃百餘名列席、心からなる

【永何】沃川郡では二十四日都谷

通り就索しての一日分の位配を集

【具篇】 警察署では沿の護りを強 本年度內区

長淵の防空

長満東小路校講堂で各面長、郵校 化すべく去る十九日午前八時から

 ○ 「は関わる場合である」
 ○ 「大学の毛皮を 名式は野球協のため今日まで延引」
 ○ 「大学の毛皮を 名式は野球協のため今日まで延引」
 ○ 「大学の手配により座音及医療員の手では関する。
 ○ 「大学の手配により座音及医療員の手では関する。
 ○ 「大学の手配により座音及医療員の手では関する。
 ○ 「大学の手配により座音及医療員の手では関する。 【春川】韓に馬は、毛皮、干大根 | の熟読のナンボル陸正機二、液本 | を獨行することに決定、証質局で | 手含を施したが翻過は非常に返く 江原道の毛

八千枚製造 【平郷】 鉄後平南江宮五十高江民 十六日午前九時から晴れの命名式 を設立すべく器可申請をたしたの「作出地に立入禁止の假度分申請を 陸軍二機の命名式

來月十六日舉行

等をもつて報酬した江原宜では更一揆三合計五楼の愛園根平南鏡の命」は式飛行の連備を進めてみる。海

関則するやらに

申出て

るるがサテ のいがみ合ひを返信局並に忠南 である尤ら船舶送着側はな数深、全では現在北後名を収録して、主

いいと関連語に寄掘しないとう

題はどう政理でるか?注目はお

なら突堤の先場を開設式の設計に「綴にてあるが終化されたものゝ中「は三国、金在先君は一国、金石萬 して是非これを作らればなられ、任は私化等等に減ぐましい努力を一動して観々飲金を申出で黄左奉君一間に手権力の後職があった。 感激の融金(開建)大成」にはずでに二百頭近、鈴竜三へな一省音体開着は五十四短頭甲し主任。に同夜十一時頃収押、いれ、十七

河氏の代理辯護士が うものもあり最近は時島訓話に総 に省託したので廿一日本託開放支

修成師として東野へ中であるが成 日午前十時番州器に押送され目下 行きは注目されてみる

貯蓄週間

原州郡職員 勤勞率仕と

研究會結成

諸級の事務を主性ニーでとが経費 これの過すとになり来月から、日は 金を開き事務側質能製向上にし 仕デーとし、師嗣境内の循環での し益々競技の顕結を固めを公の

蓄組合組織

ちに公皇が川洪氏の形に入院原金 何は日医より由血多量の高め現場 瓜郎であるなに最石を加へた徐樹 もかゝはず不遇な態度に田て果て 報合を結成し質現に適逆すること 署、各種關稅等三百萬名を招加す の既行について具他的協議し貯金 十九日同夜に分け金の芸者、官公 【仁川】廿一日かり錦後貯蓄製品

華川にも委 員會結成

戦労院書の實行並に貯養美配の首 の語音を開催し、非常形容的 等回答し 別の有力者三十億名を指集して 都銃後報酬委員会設立のため、 【羅川】 郷では十九旦午後 「時

龍仁の馬糧評定

人、名誉教祖奉力行為、係皆者 おりもばしなされたとなりをとなって大司者では阿人等を住居住 席の統統出席の上任郡守の下に国民を協議し興雄にも實行したも 郡守議議で管内各首是及駐在所守民を協議し興雄にも實行したも かけい 席の紡績田席の上任孤守の下に軍 馬の馬場打合を全行い午後四時 【龍仁】去る二十日午前九時から

昭名の下に目下設立取調べ中 一会した道、器物競楽といる長たらしい | 馬の見

中堅靑年の講習

春川吏員養成所で 來月五日から開く

殿祿) 見事(新北面新銅里春川抵興一毅(大川小作賞稱、李明 長)生活改善(武倉主事)鹿行者庭(首属技術)山林(山林四 (大湖技師) 菱簋(北湖技) 所) 建談會 (調節系

肺結核

江原道では來る七月五日から九日

まで五日間参川地方更員養成所で

中医育年西部諸葛登を開催するこ

るところますく大となったので

光に伸ひ中を背甲の活動に柳続す

【春川】整備家更生指導計畫の機

ても相當効果あるを報

本劑は重症肺結核に對し

早期治療の効果

待さる、結核疾 なる好質粒を期

思の爲めチモ

とになった、受酵者は第七項職定

知に於ては注射回

告せられ、殊に早輕

数も少くして優秀

田盛りの使向があり郷紙し扱いの とれてゐる

が、智見達は昨秋來の景景に経済。で本道の工事界の前途は相首奏風

探を推奨する

よる早期治 アオーゲンに

中部朝鮮野球大會 廿五・六兩日京電支店裏球場で

達 水原運動俱樂部

後援 京城日報水原支局

光の大者更計學中央、平空得其線、飛行、日孫です。日帝化馬奉大二、民の村田しに務めることになった「建記者有島辺明……李川色では我に不適」不南近は唐金規範、新國「の敷設平原豊田の敷設工事、昭和「念し参力信加運動によって地方整一「作川」廿一日から諸民間動員試

一汗流 やか

した快よさく

t I t

な庭園

7世

Ų

5

一動労産仕と政党をよの設立を配展力を設定している。

日本語の本書が上の大き時に大光 に到するやうにくたは時間のは、第一年の大きのでは、「東京の大き時に大光 に到するやうにくたは時間のは、第一年の大きのでは、「東京の大きには、第一年の大きには、第一年の大きに、「東京の大きに、東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大きに、「東京の大き

作用も乗ね備へて居ります。

完全な清掃作用* 養低豊富な特殊

果

物質策

すばかりでなく の含有によって

関端に解決するべく徐辞設士の出昌外四氏は同日午後五時頃周期を

医学博士 衣 堂

交给產婦 尿塘南大門通四十六九(州南町條宮所紹宣)

原始系統三500番の東語本層 401三番 京城長舎町小林又七朝鮮地圖部朝鮮地圖販賣元は(型録進呈)

昭和十一年七月一日理在諸信集團

一頭痛養

苦痛苦痛云わずの

近海郵船仁川田帆 カー 六月廿六日 神多、長崎、郎見島、 三角 丸 六月廿七日 横瀬、宋京 横瀬、宋京

船定期七川出帆|

際代地、六月十二日 世)日 東京北、大月十四日 十五日 西部地、大「日十四日 十五日 西部地、大「日十四日 十五日 西部地、大「日十二日 十五日 正生地、大「日十二日 1十日 正生地、大「日十二日 11日 大子田・田田保川村・岡村田城 社 右之郎・田田保川村・岡村田城 江田 11日 11日

(田荷傑専用電話) │ ○三〇番 高杉商店回漕部

型 巴魯斯爾語名 7 世龍





静脈内注射用・吸入並に外用

学會總會に本劑が中心的存在として論究され、今春京都にて 學界に重大なる使命をもつて競表され・・ **《輿摯なる數多學者の研究發表あり、殊に毎回の日本結核病** 開催の同學會に於ても數題の有力なる實驗成績の發表あり 益々其効果の認識を深められたり。

應 症

肺結核・肺門淋巴腸結核・肺尖カタル・早期浸潤・結核性助 膜炎・結核性腹膜炎・カリエス・腺結核・腎臓結核・結核 性關節炎。結核性墮瞢。皮膚結核。生殖器結核。 其の他結核性諸疾患竝に肺壊疽等。

一手販資元 東京市日本橋區本町三丁目 株式會社 鳥居商店

、説明書贈呈)

札幌市南四條西十三丁目 三星藥品株式會並



生、生産で野野報園隊を組織汗の

半島の献金四百萬圓突破

體位

胚芽米を食べる運動

本府の音頭取りで全鮮

生陶器以東南郷山東南部以東南部以東南郷山東南部山東南郷山東南郷田山東南

がある。

要者はおりません。

行

京就府资金町三ノ二二五元 元 (2) 二 ○ 三 →

中部地 子尊上等。 9十二日

整形外科

超到

入院隨意

日衣の勇士

ようてそ花柳壽美

頭華やかな交驩

私達は張切つてゐる」と

『見果でぬ靑春』の女主人公語る

女王花佛寺美女史は墨頭で抱負を

全力を盡して』

爾十郎氏語 です」を選びました。精一杯やる種り

行はい主張り切ってのます。ど 行はい主張り切ってのます。ど

來月七日 事變一周年を迎へて

で人用な イタミンC と一種の植物 学的に研究して貴重なず 色を白くする植物として 全然副作用がなく健康をして賞用されてゐます。 博士の色素解薬モンプラ ス、コキビ等の内服築と ホルモンを抽出した藤本 ンは色墨、シミ、ソバカ

る 切手二枚封入の上左記をすから御望みの方は三錢明書と試藥を進呈致しま.明書と試藥を進呈致しま. 般の賣樂と混同されるこ
殖藤本博士はこの築が一 第 辺 元・モンプラン製薬所 の 元・モンプラン製薬所 増進し二三ヶ月で別人の になれば分果されます ンプラン製薬所宛お申込

炊事長条集 四角五般は予ひ確し、工典副者 政府市に四名。 近近及閣僚等と選挙されたし の政府市で円並二丁目 大倉間セル一部 朝鮮織物瑙會社 姓名在



ゼロこの基準に質問、外系一つてくれたので小作人に通

町會の縺れ再燃 疑惑深まる『元町

核の一番地ノー 廣橋とより、「大学社本店チ六月二十二日左記」という。 大学 神楽 生

商科一般及レントゲン科 クロダ脳科

化柳病專門

羽鮮協同油脂紫會社

尿固紫的

京城本町一種ロル

目町谷の添伽は丹び南岸諸が前段

體の童謠

先づ一、二年用を募集 本年に小昼校一、野一覧を聞かに歌 るとになり、先づ と口から仲好 人の合唱で半島場



9ひこぼれる髮……誇らしい髮!

て買ります。 環路中人番 森 本へて買ります。 電話補助 一一〇〇番

藤本順 博士創製

电

年 計 好い電話変たし 本院大三一番 好い電話変たし

色白くなる

本家本語と智一と採用子供向外的本家本語と智一と採用子供向外的本家本語と智一と採用子供向外的工作用子供向外的工作。 文章に自信める態度

特別案內

11100円

が、本語白百一さでの結果に比し

で挟して黒が良いとは云ひ得ない

に倒して脳絨しけしない。

て、如何に黒が優らかを容易に知

白は二とッグ一手、以下黒十五ま

一の健体を限る外にないのである 乍ら左邊を最大限度に聞って、其

親戦記 は、思さんト

影性もの東方ちははずはものちゃ

『石ノ十五』にケイマし、及ばず

此成に至っては、黒は百二で

行かればならの種黒は非勢なので れる石ではないが、それを取りに

性もの、響々と歌はれて

勿論この自は取らうとしても取

も、触るとも、つれないは、

合 我が後生の張はれて

合 入州の後城

参考頭(一) 黒一とノピ出せば

この結果中央方面は、むしろ語

下無は急者順(2)の如く打つの

|なほ黒百二の態長は何んたる事で

「類別」と引導を載されて而ら

六・二〇(東)コドモの河阻、六・二〇(東)コドモの河阻、 六・〇〇(東)幼児流話クフクロ

と物的要素が必要であります。幸一

す消費の節約方法も色々あるが、 と一時に大量の物質を要しますの にはどんなものかをお話事上

鉄後の春公を致して居ります 分とは申しませんが、歌時となる

ませんが、物的要素となり。 げ情様の御協力を得たいと作じま | 兵主熊五郎に協力して女房の行方

の事質となて居り国民もその名。平和な時ですと我國の養原も不十

るかと移へれば、どんなに苦勢

ますと油断の出来ない質情にあり 夫

一分の間行か抑まれ、それからは生 してとも自分で立派にこの子は育 く。総跡かにどんな仕打ちを受し て、行くと云つて田で行つた女房

現山即したとか酒に解ばらつて踊 生成法と響くなり合品到の

対はいよく苦しくなる。今日も 間の信用もすつかりなくなって家 買ぶの道樂がやまない。從つて世 際川常勢町に住む大工の態元郎は る屋子供があるのに、依む、打つ 子は鎹「懸縛」 めにも、 り、以て經濟の均衡を聞ることを 食の膨脹を防ぎ、公配の消化を聞

九・三〇(度) 時報・ニュース・

京都近高州郡以平而南

11一种及合金 木村松太郎

取扱方に就て (11) 津村 根南季に於けるラデオ受点

似を回版に抑制して行かわばなら

八・〇〇(大)混花面八・〇〇(大)混花面

際何南出來鄉沙下面

六・〇〇 見派劇と承燕(清津) 六・〇〇 見派劇と不識) 毎 校 見 窓 六・〇〇 見派劇と不識)

らひょこたちは大よろこびでそれ

ることが急動となるが、之が気に

の所・翌日の番組・地方へのニー八・四〇(大)義太夫ニユース解脱・氣象道報・明日 三味線

時 婦 _の

長期抗戰と消費統制

一要する。國民は親非に勝つ係めに 数多の機性を恐びて

うちみ 神經痛

脊腰痛 くじき

前に很は数々御座る合 前田白秋

支那事變の聖職が長期に互ると云

京城市工会開所総務課長赤

尾

正

後夜の鐘をつく時は、

味よく爽快迅速に作用し 感遊し、スウーへと小気 いれば忽ち樂跡が皮下に **字解師賞式で體製がよいけ又悪性のカブレも起さて頭面なコリキ縮みを和**

「定位」二十銭。三十銭

製四、共使右三甲帽スリカノル投資ニ、機業

京城地方法院

部稿仁川ョリ医標直就

東京 (1) 中国 中央域域を建立。 (1) 本日 東京 (1) 本日 (1) 本

Cのいやな類を見るのも辛いし…

言語って行かない?」 もう趣いから止します。

方がマムだつて安心します』 『本常なんだよ、皮肉を云ってや

題らうとすると

役子を背山へ送つて、千駄ヶ谷

シ家へ遊びに來て貰っておくれ、 人が軽速なんか競歩するより、

御安院もマンにかくれたりしない

事で、選手が闘って來たらば相談

二、別唱 短歌 (イ) 若杉の林歌 (イ) 吹図

あずのきへもの

たっそして大きなよくろに一ばい

品の多くを輸入に使つもので 戦争のためには多大の特技を入

依る代はない。金の重要は近常

和淡美復興の機理と共に和淡美復興の研究を経たる本部は紫に三百年。更に近代替紫に三百年。更に近代替紫に大きな神は

よこのごもそうを買ひに行きまし

島のに全力を似ませればならら らず、經濟力に於ても勝利を獲 居るが、國民は兵力に於てのみた 日支軍題は他よ長期化せんとして

長不 壽老

皇漢薬の精髄

爾月(ロ)水の

お田は急に改まった。

繪

[152]

あんたが外が大臣の官邸で

かのり 11、のぞな、三、

午後一・一五 家庭の時間正午 レコード

大· | | | | |

ハーモニカ

ナアノロクフ ラク語が(束)

> 「後七・四〇1森 廣蔵 源時局と金

なと云ふ子は夫婦の間の鎹といる 亜耶一家に自出度く恐がめぐり※ を捜索して果れる。かくして三年

日載子は将び巡り合ひ、こ、に能

^無
場登記公告

んなに郷しいか知れないわ』七・〇〇

が類はしません んのお顔なんだから、 って下言る事になったのも佐山さ 明男も佐山さんが好った

七・四〇(東)勝寅時局と金

殿殿

管 綾 樂 大阪ラボオオ 東 選唱及朗唱 荻野 遠子

九-10 親

その代りと云つては、話が少

「マトさへ、いやな顔をしなけれ でやつて頂きたいと思ふんです。 灰の自由は認めて、佐山さんとの

ろなんです

等 前田

八・三〇(城)琵琶(京城・平壌)

六・〇〇 こども静吟含(釜山六・〇〇) こども静吟含(釜山 六・00 らたとピアノ (京城)

へつてみたら、よくろはからつぼ

全網各地築店にあり

[原位] 五十维。一圆三圆。江圆

振著职京五四〇番 東京市神田銀治町 東京市神田銀治町

益々その真質を高揚。

三、獨唱(イ)並の花(P)

京城帝國大勝助教授・醫酪卿上早援三・〇〇(城)婦人の時間

イ)派水浴(ロ)船乗りの

む(へ)ほととぎすこち

正午(東)時報についき(城)報

廿四日(金)

电影器型器型

· 百代表取締役即使隔へ 小豆株式存社△昭和拾金

大阪商船出机

職か対風の足りの個々なきをぎる。 らが、下方の微失があまりに能すって消足し九六とキッたのであら 強化する事を得るから、それに因

此此で無は百二と打ち左上方

は一の資利がある事を見逃しては

間に他は無「い」白「ろ」「無「

從つて左方の系地を九十五百以 **黒百八までとなった自地の目数**

ねて 合 中に丸山たどまるかれ

もので、効果の的酸・迅

速が好評です。

けて塗付して下さい。實本劑を、添附の綿綿につ

に気持ちよくサッパりと 別は獨逸ポリツェル博 めが現はれます。

国や星の

悪い制は

共に出身をなじみから

での必然的結果を想定し、中央を

朝飯削である。

九州郵船出帆廣告

グるのは、黒「LI」白「 老 落面 (1) ◆黒の巻へとしては、白百一

未だ削途に光明を見田しる得認な

たりするから、これで黒が良いと

は、白『い』にヒラかれて是は本 して、黒二で三の方からツメるの

白一の打込に割

十五』にケイマシ、人事を遊して

評にもある如く、百二は『あノ

部白五の一子が聞いてくるから向

勿論「りノナ四」の白が活動し

方に於ける譜との得失は、銀泥

登津丸